

2021年2月16日

ジェンダーについて一言。

このところ JOC 会長であった森氏の女性蔑視の発言に対してオリンピックの精神に反するとして世界中から非難をされ、先日会長を辞任した。JOC の会長の立場での女性差別の発言は論外であり、会長辞任も遅きに失した感もある。当然のことだろう。

ただこのところのマスコミ報道は可笑しい。なんでもかんでも女性差別は撤廃すべきだと騒いでいる。今度の JOC 会長は女性にすべきだとか！なんとも女性差別をさらに助長しているようで、やや不満だ。確かにここで女性を会長にすれば世界に対して、日本は女性差別をしていないということを宣伝するかのようである。しかし本当にいいのだろうか、かえって女性差別をことさら助長しているように見える。冷静に考えれば JOC 会長としてふさわしい能力のある人を選ぶべきだろう！女性、男性の区別はなしにして。外面を繕うだけの女性採用などしてはいけない。

女性と男性は本来違うものだ。社会的にも体の構造からしても、それぞれの役割があり、まずはそれを基本にこの差別問題は考える必要がある。女性は子供を産んで育てることがまず必要であり。男性はそうした女性の生活を支え、守ることが重要である。これは人間の歴史を通じて連綿と受け継がれてきたことである。何もすべて女性も不男性も同等である必要はない。もちろん女性は可能な限り社会進出すべきであり、男性はそれを男性の特権をいいことに妨げてはならないのは当然である。しかし先に述べた原則は尊重すべきことと思う。これをわきまえたうえで性差別を可能な限りなくすべきだろう！勿論、私は子供を産まないで社会進出を優先するという女性もいるかもしれない、しかしこれをすべての女性が行えば、人類は滅びる。まあ人間は絶滅危惧種とも言えなくはないので、それも一つの選択ではあるが！

要はそれぞれ女性が何も制約されることなく自分の権利が行使される環境を作ることが社会的に必要なことと思われる。なんでもかんでも女性差別として面白おかしく取り上げるマスコミが最も性差別を助長している様に見える。これに単純に乗ってくる社会も低能なのだと思うが！やはり我々は冷静に何が差別かを考えるべきだろう。JOC の会長は女性ありきの論調は愚の骨頂だろう。馬鹿なマスゴミにのらないようにしなければ！